

チョウジソウ

Amsonia elliptica (Thunb.) Roem. et Schult.

キョウチクトウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

県内での生育地が限られている。(現況:R-)

形態

茎は直立し高さ40~80cm。葉は毛が無く、披針形で先は鋭く尖り、長さ6~10cm、幅1~2cm、ふつう互生するが、ときに一部対生する。茎頂にやや多数の花を集散状につける。花冠は青藍色、径約25mm、5裂して平開する。果実は袋果で2本の円柱状、長さ5~6cm。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

内浦区、南加賀区。

生態など

多年草、花期は5~6月。

生育環境

水辺の湿った草地。

危険要因

森林伐採、池沼開発、湿地開発、踏みつけ、土地造成、園芸採取、自然遷移、産地局限。



小野ふみ糸・2006年6月4日・能登

分布図はありません。

県内の分布